



太田 淳一 議員

復興に向けて

問 去る6月議会でも同様の質問をしたが、現在、農地・水路除染が行われている中、せっかくなので、大雨等によってため池からあふれ出る「濁り水」によって再汚染の懸念がある。まずは、ため池の底に溜まっている汚染物質を除去することが、本市の農業復興に重要であると考え、ことから、農業用ダム・ため池の汚染物質拡散防止対策について、平成27年度、市はどのような対応をするのか伺う。

答 農業用ため池の除染については、平成26年11月19日、放射性物質対策技術マニュアルの基礎編として、放射性物質対策の基礎的な考え方が示された。また施工編については、

平成27年3月に策定される予定であり、27年度は対策の検討に必要な基礎調査を行うなど、今後のマニュアルに沿って対応する考えである。

問 新たな奨学金制度については、不特定多数の市民が該当するため、財源確保の観点から慎重に検討しなければならぬと考えている。なお当面は、就業者応援事業奨励金のPRや市内企業とのマッチングなどを積極的に進めていく考えである。

答 新たな奨学金制度については、不特定多数の市民が該当するため、財源確保の観点から慎重に検討しなければならぬと考えている。なお当面は、就業者応援事業奨励金のPRや市内企業とのマッチングなどを積極的に進めていく考えである。

問 資格を得ても就職できない現状だ。処遇改善しなければ、確保は難しいと考えるが。

答 南相馬市就職者応援事業に、介護関係で16人申請している。対象者全員活用に向け、周知していきたい。

平成27年3月に策定される予定であり、27年度は対策の検討に必要な基礎調査を行うなど、今後のマニュアルに沿って対応する考えである。



シルトフェンスによる流出抑制・拡散防止対策 (広野町、西の沢ため池)

質問を終えて
ため池の除染も重要ですが、森林除染をどのように対応するかが大変重要な課題です。

その他の質問
① 人材確保の市内の状況と長期的な対応は

問 日本介護福祉士会の調査でも、定着しない理由として、給料が安すぎる84%、仕事がつきつい58%、将来に展望が持てない50%、有休が取れない44%と報告されている。市として独自に処遇改善策を創設すべきと考え



家族介護教室

介護職員処遇改善策

問 親や子どもへの面倒を見る必要がある・就業時間の条件が合わないなどが理由となっている。介護サービスイ育で支援の充実については、総力をあげて取り組み、引き続き就職面接会や求人情報の提供など就業促進に努めていきたい。

問 国の介護報酬改定では、暮らしが成り立たないのが現状だ。市として特別の対策が必要と考えるが、市長の考えを再度伺う。

答 我が国としては、できる限りのことを努める。また、市として、深刻な介護人材不足を打開するには、処遇改善しかない。国も市も抜本的に対処すべき。

質問を終えて
深刻な介護人材不足を打開するには、処遇改善しかない。国も市も抜本的に対処すべき。

その他の質問
① 国の介護人材確保策の強化要請を
② 家族介護者への支援強化を
③ 地域での介護予防体制の構築に向けて



荒木千恵子 議員

介護職員の確保は処遇改善で!

一般質問



水井 清光 議員

ため池除染 実施について

問 南相馬市内に145カ所のため池底土のモニタリング結果が平成26年9月に公表されている。8千ベクレル超えは4カ所とあるが、農業者の立場からすれば、145カ所安心が得られるまで除染する必要があると思うが見解を伺う。

答 農業者の望むため池除染、放射能拡散防止対策事業として取り組んでまいります。

問 農業再生の観点で農地除染(用水路・水田)が進行している。ため池除染の仕上げの見通しを伺う。

答 ため池、ダム関係の除染については以前から国に要望して来たところですが、国としては実証事業に基づいて、マニュアルが27年3月までに示される。南相馬市にある全ての



ため池除染

ため池については、市が実施すると国から示されている。平成27年度のため池の詳細な調査、さらに工事に取り組み実施設計を行い、具体的には平成28年度から始めたい。県営ダムを除いて、ため池の台帳上による数は286カ所となる。3年程度で仕上げるのと1年で100カ所と計算されるが、現実的には1年50カ所と見込んで6年かかる。複数年以上の年数

がかかると見込んでいます。

問 地域の皆さんの除染に参加をいただくことが、除染に理解と安心を得られると思うが見解を伺う。

答 ため池除染は専門的知識が必要、国のマニュアルに沿って地域の皆さんの参加を願う。

質問を終えて
ため池除染はこれからの長期的課題となる。確実な除染工事を検証して行かねばならない。

その他の質問

- ① 除染廃棄物の中間貯蔵施設への搬出計画
- ② 農業分野の人材育成は
- ③ 医療・福祉分野における人材育成と確保



渡部 一夫 議員

市長の 政治姿勢について

復旧・復興について

問 どうして南相馬市を再生していくのか。そして復旧・復興していくのか伺う。

答 今ここに住んでいる方々も避難している方々も含めて、あらゆる分野において安心感を得られる形での施策展開を考えています。

問 市民の皆さんが市長の考え方なり、行政のやるうとしていている方向性をどれだけ理解しているのかということ、今後の行政運営にとって非常に大事なことと思うが市の考えを伺う。

答 機会を得るごとに全て市民との感覚の共有ができていくかという検証が最も大切であり、そういうことを含めて政策展開が必要だと思います。

復旧・復興を成し遂げまちづくりを進めるためには、住み続けなければなりません。そのときに時間が経過し不幸にも健康不良を訴えたとき、南相馬市に住んでいたことを何を持って証明することになるのか伺う。

問 被災者証明について

答 震災時に南相馬市に住んでいたことの証明は、原則本市に住民票のあった方について



質問を終えて
今回の質問は選挙期間中に、皆様にお話してきた内容を中心に取り上げました。

その他の質問

- ① 企業誘致は
- ② 政策的課題の取り組みは
- ③ 南相馬市議会議員一般選挙について

一般質問